



ネパール・ヌワコット 洪水被害の状況＜第二報＞

発行：2026年8月28日

アッパー・トリシュリ川流域の現在2026年8月28日の様子



■被害の中心地：ビドウル市第7区（トゥプチェ下部地区）

現地のNGOパートナーのシグラジ氏より、被害状況の続報が届きました。

第7区で確認されている被害

周辺地域を含め、これまでに300名を超える方が洪水により亡くなられ、今なお行方不明の方がおられます。第7区だけでも約250世帯が被災しました。

経済的損失の全容はまだ算定できていませんが、少なくとも1,000万ネパールルピー（1クロー）規模、実際にはそれを大きく上回る可能性があります。水田や農作物は広い範囲で流失し、家畜も失われました。

通学途中に流された子どもたちもいるとの報告があり、心が締めつけられる思いです。

- 支援児童の父が発電所トンネルで行方不明
- 現在までに350名を救助
- 約250世帯が被災／死者300名以上
- 損害額1,000万ルピー超の見込み
- 水田・農作物・家畜の壊滅

【緊急】

HFIの支援児童ロシ・タマンさんのお父さんが、アッパー・トリシュリ水力発電所のトンネル内で行方不明となっています。これまでに350名が救助されたと伝えられていますが、お父さんが含まれているかどうかは現時点で確認できていません。無事の知らせが届くよう、どうぞお祈りください。

下の写真は破壊され、流された水力発電所（Power house）の施設。対岸は、HFIがいつも訪れている街並みで、4階の建物が破壊されて、廃屋となった様子が見られます。



ビドゥル市第7区で確認されている主な被害

学校・子どもたち

私立学校1校が全壊、公立学校1校も一部被災。通学中に流された生徒もいます。

道路・橋・ライフライン

幹線道路約3kmが激しく損壊。トリシュリ川の大橋が流失し、飲料水施設も寸断されています。

農業・家畜への打撃

水田と農作物が広範囲で流失。牛・ヤギ・水牛・鶏を失い、約2,500羽の養鶏場も全壊しました。

公共施設・発電施設

トリシュリ水力発電施設・ダムが流失。第7区役所や聴覚障がい者向け寮も被害を受けました。

第7区上部地域では直接的な大きな被害はありませんが、停電と交通遮断により、物資不足が懸念されています。



被災した家族が今もっとも必要としているもの

現地から報告されている、被災した約250世帯の緊急に必要な物資です。届いた情報をもとに、必要な支援をお届けしたいと願っています。

米・豆（ダル）・食用油

医薬品

テント・寝具マット

衣類・日用品

被災家庭への生活再建支援

皆さまへのお願い

洪水で家族や生活の糧を失った第7区の方々のために、どうぞお祈りください。
現地は今も状況が変化しており、安全が確保でき次第、写真を含む続報をお届けします。
皆さまの祈りと支援が、共に歩んできた地域の人々への希望となります！

■ 寄付金受付口座 ■

ゆうちょ銀行 振替口座（口座名：NPO法人HFI） 00160-1-374014

ゆうちょ銀行 通常貯金（口座名：NPO法人HFI） 10180-65527961

三井住友銀行 普通預金 二子玉川支店

（口座名：特定非営利活動法人Hope and Faith International）
3929626



オンラインでクレジットカードによる寄付ができるようになりました。ぜひご活用ください。

認定特定非営利活動法人 Hope and Faith International

TEL & FAX 03-3707-6159

✉ office@internationalhf.net

WEB: <http://internationalhf.net/>